

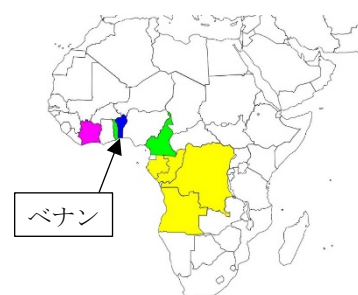
PROVAC-2 広域対象国情報交換ワークショップの様子が現地メディアで報道されました。

弊社がベナンで実施中の内水面養殖普及プロジェクトフェーズ 2 (PROVAC-2)では、2017年12月5日～8日アンゴラ、ガボン、カメルーン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、トーゴ、コートジボワールの7カ国の養殖関係者15名をベナンに招聘し、広域対象国情報交換ワークショップを開催しました。

初日の様子は、以下のYouTubeのURLよりご覧いただけます。

◆ベナン国テレビ放送(Benin Eden-TV)動画

https://www.youtube.com/watch?v=YTBq-U_UUMU&feature=share



ワークショップでは、プロジェクトの活動状況を報告するとともに参加者には養殖サイトの視察をおこなっていただきました。また、各国の養殖事情の報告を受け、それぞれの国における農民間普及アプローチ導入の可能性や今後の連携した活動について意見交換しました。終了式には在ベナン日本大使館から小西淳文大使がご来席くださり、激励のお言葉をいただきました。

私にとってはこのような国際的なワークショップの業務調整ははじめての経験であり、各国の参加者の渡航支援や現地視察のスケジュール調整など先輩社員やカウンターパートの助力のもとと乗り切ることができホッとしております。
(文責：自然環境部 西川)



ワークショップ終了後の集合写真



PROVAC-1 中核養殖家のサイトを視察し、中核養殖家と意見交換をするワークショップ参加者



現地新聞 LE PROGRES 紙に掲載されたワークショップの記事 (紙面左下)